

全国で 大阪で 広がる野党共闘

いまや自民・公明の補完勢力 あらわになる「おおさか維新」の姿

昨秋の知事・大阪市長選挙から半年余。全国でも、大阪でも政治が大きく動き出しました。安倍政権が強行した「安保法制」(戦争法)にたいする市民の怒りが噴出。野党共闘の新しい流れが広がり、そのなかで「おおさか維新の会」の本性がさらけだされています。

野党
共闘

安保法制(戦争法)廃止・安倍政権退陣へ

——野党と市民が手をつないで



5・3扇町集会、4野党そろいぶみ

5月3日の扇町公園「おおさか総がかり集会」。民進、共産、社民、生活の4野党府連代表がそろい、「野党の勝利で戦争法は廃止」、そして「自民、公明、その補完勢力・おおさか維新を少数に」と力強くアピールしました。

与党と補完勢力を少数に —— 2月19日の5野党合意から

- ① 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする
- ② 安倍政権の打倒を目指す
- ③ 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む
- ④ 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う

おおさか
維新

「改憲3分の2勢力入り」を公言

——安倍政権と二人三脚で

憲法改悪へ、安倍首相は自公だけでなく、「改憲を考えている責任感の強い人たちと3分の2を構成していきたい」。「おおさか維新」は党大会で「改憲3分の2勢力入り」を公言。二人三脚の「改憲タッグ」でつきすすんでいます。

「憲法改正はすごいこと。なんでも協力する」
「住民投票は(改憲の)国民投票の予行練習だ」(橋下徹氏 昨年1月)



与党にすりより、野党を分断

——市民の願いに背を向けて

「おおさか維新」は大阪で、2人目を擁立。その理由は「共産党と民進党に大阪での議席を与えたくないから」(松井代表)といますが、ついこの間まで「大阪都」を批判していた方でした。その一方、総選挙では大阪の4つの「自公協力・公明現職区」には候補をたてないことを明らかに。「野党は分断。自公に協力」。この面でも「安倍政権応援団」ぶりがうきぼりです。

「維新惨敗」京都3区

4月の衆議院京都3区補欠選挙。「おおさか維新の会」としての初の挑戦でしたが惨敗に終わりました。

あの渡辺氏が維新に!?

「8億円借金」問題の渡辺喜美氏(元みんなの党)が「おおさか維新」入り。「身を切る改革」はどこへ?

子ども医療

大阪府は子ども医療制度の改悪ではなく、制度の継続を！

子ども医療制度の改悪ではなく拡充を！

「貧困と格差」がすすむ大阪では、子ども医療費無料制度こそ必要です。大阪府は昨年から子ども医療費助成の対象年齢を「小学校就学前」に上げましたが、お隣の京都府や兵庫県と比べても全国ワースト。

各県独自の子ども医療費助成制度・通院(2015年度)

東京	中学校卒業
京都	小学校卒業
兵庫	中学校卒業
大阪	小学校入学前

安心して受けられる医療助成制度を

老人、一人親、障害者、子どもを対象にした府福祉医療助成制度に関する研究会では「新たに精神障害を加え患者負担を増やす」3つ選択肢(右表)で検討をすすめています。「そもそも国の制度にすべき」「お金を気にせず病院に行きたい」と府民の願いは切実です。

入院、通院、院外調剤、それぞれ1医療機関あたり

- ① 1日500円以内
- ② 1日800円以内
- ③ それぞれ1割負担



維新府政による子どもいじめ施策に 府民から怒りの声が集中!

チャレンジテスト

教育をゆがめる 中学校チャレンジ テストは中止を!

高校入試に使う内申書の評価は、授業態度や提出物など年間を通じた成績を各中学校が責任を持ってつけるもの。ところが大阪府は、昨年から始めたチャレンジテストの結果で、学校がつけた評価をむりやり変更。学校関係者や保護者から「テスト至上主義で教育がゆがむ」と怒りの声が噴き出しています。

とりわけ中学3年では、たった一回のテストで、学校ごとに評価のワクが決まり、平均点が高かった学校では「5」や「4」をつけられても、低かった学校では「2」や「1」をつけざるを得なくなり、まったく不公平です。

「中3チャレンジテスト」で中学校を序列化 まったく不公平な入試に

ワクに従って10人に評価を配分すると…

「有利」な中学校 (評価平均「3.7」の上位校)

「5」「5」「5」「4」「4」「4」「4」「4」「3」「2」

「不利」な中学校 (評価平均「2.2」の下位校)

「4」「3」「2」「2」「2」「2」「1」「1」「1」「1」



保育所待機児童

各自治体で 「保育所を守れ」の 運動が大きく発展



「保育所 落ちた! 日本死ね」と保育所に入れない保護者の声は切実です。自治体でも公立保育所を廃止する一方で、「認定子ども園」に集約する動きが広がっています。それに対してママ・パパの会や保護者会を中心に「公立保育所を守れ」「待機児童を解消せよ」「保育士の処遇改善を」など府下自治体で運動が大きく広がっています。

松井知事は規制緩和で 「待機児童『ゼロ』作戦」!?

府の待機児童数は3349人(15年10月1日現在)です。子ども1人当たり面積基準の緩和や保育士資格を持たない「保育サポーター」の導入など、安全軽視と採算重視の保育行政を狙っています。